

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)桃山台2集合住宅	階数	地上7F
建設地	大阪府吹田市春日4丁目550番、55	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第二	平均居住人員	503 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年12月 予定	評価の実施日	2014年10月1日
敷地面積	5,298 m ²	作成者	IAO竹田設計 若江
建築面積	2,235 m ²	確認日	2014年10月1日
延床面積	11,055 m ²	確認者	IAO竹田設計 若江

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み 77%</p> <p>③上記+②以外の 77%</p> <p>④上記+ 77%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能: 4.2</p> <p>Q1 室内環境: 3.0</p> <p>Q3 室外環境(敷地内): 3.5</p> <p>LR1 エネルギー: 3.0</p> <p>LR2 資源・マテリアル: 2.6</p> <p>LR3 敷地外環境: 3.3</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.3</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.4</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.6</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>景観配慮(外観+緑化)、省エネルギー化、シックハウス対策に対応した周辺環境に配慮した吹田市の景観形成に相応しい街づくり。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>VOCの排除、ノンホルムアルデヒド(F4☆)の材料選定を行う。また、脱塩ビ(オレフィン採用)居室の24h換気設備による住環境の安全性に配慮する。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>多くの管理実績のある管理会社に建物運営管理を委託する。防犯面ではオートロックシステム等によるセキュリティ設備を施し、安心で安全な環境を提案する。また、1FメールコーナーにはAED(リース)機器を設置する。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>季節を感じる植栽計画により変化のある景観とする。また、道路際には地域に開放されたプレイロットと提供公園を計画して沿道の景観演出を図り、周辺と建物を一体的に利用できる計画とした。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>外壁に面する部分とその周辺には断熱材を施し、また、開口部廻りには庇を設置することで、省エネルギー化を図る。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>外壁には自然素材を原材料とするタイルを使用する。住戸内間仕切壁の構造材には工場加工された木材を使用する。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>周辺環境との調和を意識し、今後の街の活性化をイメージしつつ、先進的なモダンデザインを核とする。南西側及び南東側から見える景観に配慮して、センスの良いファザードを形成すると共に、沿道と敷地内の植栽計画を豊かにして街に潤いを与える。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)桃山台2集合住宅新築工事		
	建設地	大阪府吹田市春日4丁目550番、556番1		
	用途/区分	集合住宅		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			4
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			対象外

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.9	4
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊 3.0	3
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	—	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他				
先進的技術の導入		技術の名称	考慮事項	
特に配慮した事項				